

(外交・安全保障に関する調査会)

外交・安全保障に関する調査報告(中間報告) 要旨

本調査会は、外交・安全保障に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、令和四年十月三日に設置され、三年間の調査テーマを「21世紀の戦争と平和と解決力〈新国際秩序構築〉」と決定した。

二年目の調査では、「LAW S(自律型致死兵器システム)に関する国際的なルール作り及び対人地雷禁止条約の履行確保に係る取組と課題」、「武力紛争等と人道主義の実践・再構築に向けた取組と課題」、

「F M C T(核兵器用核分裂性物質生産禁止条約)の交渉開始への取組と課題」、「気候変動や武力紛争等の影響を踏まえた国際的な食料・エネルギー安全保障及び人間の安全保障の確保等に向けた取組と課題」及び「気候変動が海洋法秩序に及ぼす影響への対策と取組の在り方」について、計十五名の参考人から意見を聴取し、質疑を行ったほか、「21世紀の戦争と平和と解決力〈新国際秩序構築〉」について、委員間の意見交換を行った後、これらを調査報告(中間報告)として取りまとめ、令和六年六月五日、議長に提出した。

同報告書では、調査会における参考人の意見、主要論議及び委員間の意見交換について、それぞれの概要を取りまとめるとともに、主要論点の整理を行っている。